

# 東北 VALUE SIGHT 山形



庄内町 情報発信課長

**水尾 良孝 (みずお・よしたか)**

1956年、庄内町（旧余目町）生まれ。  
山形県立鶴岡南高等学校卒業。  
74年から余目町役場に勤務し、合併を経て現職に至る。

庄内町役場  
山形県東田川郡庄内町余目字町132-1  
TEL 0234-43-2211・FAX 0234-43-2219  
<http://www.town.shonai.lg.jp/>

近頃、「ふるさと納税」の制度を利用し、生まれ故郷など居住地以外の自治体に寄附する人が増えていると言う。寄附者には、寄附先の自治体から記念品が贈られる場合が多く、注目度が高くなっている。人口減少の続く地方の自治体が税収を増加させるひとつの方法になると思われるが、それだけではなく、記念品を通し、その自治体や産物の知名度をアップさせる効果も期待される。庄内町におけるふるさと納税の取り組みを紹介する。

## ふるさと納税による産業振興と 魅力あるまちづくり

ふるさと納税とは、自分の生まれ故郷や応援したい都道府県・市区町村に対して寄附をすると、寄附金のうち2,000円を超える部分について、一定の上限まで、原則として所得税・個人住民税から全額が控除される制度である。例えば、年収700万円の給与所得者（夫婦子なし）が、3万円を寄附すると、2千円を除く2万8,000円が控除される。

控除を受けるためには、寄附をした翌年に、確定申告を行うことが必要となるが、全国どこの自治体に対する寄附でも対象となる。

### 取り組みの背景

この制度は、平成20年度の税制改正により平成20年5月から全国的にスタートし、本町でも平成20年7月1日より『庄内町ふるさと応援寄附金』として受付を開始した。

制度導入当初の平成20年度から21年度は寄附者に対して、金額の多寡に関わらず記念品を進呈していたが、全国的に見てもまだ制度内容の浸透が浅く、本町の寄附受領件数も20件程で、その多くが町内出身者からの寄附となっていた。この頃、ある県内の自治体において、寄附に対する記念品の内容を充実さ

せたことで、件数が増加しているという情報が入った。そこで、本町でも平成22年度から9品の記念品を用意し、5,000円以上の寄附者に対して、希望の記念品を選択することができるように制度を変更した。

ふるさと納税制度の全国的な浸透とともに、各自治体の寄附制度や記念品の内容を掲載しているインターネットサイトが開設され、寄附者が『よりお得』な自治体、『魅力的な記念品』を求めて寄附する傾向が強まってきたように感じられる。このような寄附者の方々へのスピーディーな情報提供と特産品の流通、観光振興など幅広く制度の運用を図るため、『情報発信課』が当制度を担当していることは当町の大きな特徴である。

### より魅力的な記念品とニーズをとらえた制度へ

年々、各自治体でも工夫を凝らしたふるさと納税制度へ移行しており、本町でもより魅力ある記念品と寄附者のニーズをとらえた寄附制度を目指して、制度内容の改変に取り組んだ。平成25年度より1万円以上の寄附に対して12品の中から選択できる制度とし、さらに3万円以上の場合は2つ、5万円以上で3つ記念品を選べる制度に変更した。この制度が寄附者のニーズにうまくマッチし、平成25年度は2,014万円（前年度比6.6倍）の寄附を頂いた。

より沢山の寄附を頂くには魅力的な記念品が必須であるが、品目の選定にも試行錯誤を繰り返している。庄内町の特産品をベースに庄内地方の味覚を組み合わせた記念品となっているが、その選定コンセプトとして『品質』を重視している。全国的に見ると、

同じ金額の寄附に対して、本町以上のボリュームで記念品をお届けしている自治体もあるが、せっかく本町にご寄附をお寄せ頂いたのだから、寄附者の方に満足して頂けるよう本当においしい物をお届けしたいと思っている。

### 人気は庄内米と豚肉

その中でも不動の人気No.1商品はやはり『庄内米』。つや姫を庄内産にこだわってお届けし、人気となっているが、それを凌ぐ本町自慢の特産米『スペシャルコシヒカリ』はあまりの人気沸騰により残念ながら品切れとなっており、平成26年度産米をお待ちいただくかたちとなっている。

また、今年度から記念品に加わった全国屈指のブランド肉『庄内三元豚』はボリューム満点の1.5kgを詰合せしている。その他、5万円以上の寄附者のみ



庄内地方の特産品を組み合わせることで記念品の充実を図り、寄附者を募っている。

が選択できるプレミアムな記念品『厳選山形フルーツセット』<sup>1</sup>はラ・フランス3Lサイズを9個、さくらんぼギフトパック1kgをはじめ、メロン、梨、柿など都会の方々から見ればかなりの魅力となっているのではないだろうか。

また、食品のみでなく観光振興を目的として、町営の温泉施設の宿泊券も記念品に加えており、全国各地の方々からお申し込みを頂いている。

### 進化を続ける庄内町ふるさと応援寄附金

寄附者の方々に出来るだけ早く記念品をお届けすることと、記念品発送の間違いを無くすため、発送は一括して町の第三セクターに依頼している。この第三セクターは、独自にインターネット販売を中心に特産品販売を行っており、ふるさと応援寄附金制度をきっかけとした顧客（リピーター）も年々増加しているという。このように町の貴重な財源を確保できるとともに、町の特産品販売や観光事業の振興にまで効果が波及していることで、当制度の恩恵に感謝しているところである。

寄附者の方々より「今年の豪雪により、ご苦労が多いことと思います。納税分が雪かき費用に充てることができると思います。」「日本一住みやすく住み続けたい庄内町」を応援します。「これからも安心して美味しい特産品の生産を応援しています。」「今以上に素晴らしい町になっていくことを、心から応援しています。」など心温まるメッセージも頂戴している。これからは当制度をより良いものに進化させながら庄内町のファンを増やし、特産品のPR・販路拡大や雇用創出に至るまで、魅力あるまちづくりに幅広く生かしていきたいと思っている。

<sup>1</sup> 平成25年度の商品内容であり、市場価格の変動により内容が変更となる場合があります。

